

「2040年を見据えたまちづくりのあり方検討に向けた調査・研究等業務」
に対する質問及び回答

	質問	回答
1	業務内容(3)における、「財源」について 『財源』については、市内部の財政運営ではなく、市民への影響を踏まえた観点とする。」こちらの記載における、市民への影響を踏まえた「財源」の観点について具体例、あるいは補足説明を提示いただけないでしょうか。	税収が減少すること等による「行政事務の効率化」「財政基盤の強化」といった市役所内部の観点ではなく、税収が減少すること等により、「市民が直接的に影響を感じるような、日常生活からの視点等を想定しております。 個別具体的な例につきましては、企画提案の内容に直結するものと判断されますので回答は控えさせていただきます。
2	資料名：提案説明書 該当箇所：P.3、7(1)参加意向申出書及び資格審査に係る提出書類の提出等 質問内容：参加意向申出に際して提出が必要な書類は、「様式1 参加意向申出書」のみとの認識で相違ないでしょうか。	御認識の通りです。
3	資料名：業務仕様書（案） 該当箇所：P.3 （3）共通視点の分析及びクロス分析 質問内容：「人材」「共助・協働」「魅力」「財源」の4つの共通視点からの分析及びそれぞれを掛け合わせたクロス分析を行う。」とありますが、クロス分析について想定をご教示いただけますでしょうか。ここでいうクロス分析とは統計的なクロス分析ではなく、ブレイクスルーを抽出するための視点横断分析の様な意図となりますでしょうか。	お見込みの通り、ブレイクスルーを抽出するための視点について、横断的に分析することを想定しております。
4	資料名：業務仕様書（案） 該当箇所：P.2 （2）ヒアリング・先進事例調査 質問内容：ヒアリング対象となる有識者等に対する謝金・旅費について、札幌市として適用すべき基準がある場合はご教示ください。また、仕様書記載業務の範囲内で受託者が必要と判断した場合、受託者負担により支給することは可能との理解でよいでしょうか。	有識者等に対する謝礼につきましては、本市における一定の基準がございます。必要に応じて、受託決定後に共有させていただきます。 本市より別途事業費の上乗せは発生しませんが、受託者負担により支出することは妨げません。
5	資料名：業務仕様書（案） 該当箇所：P.2データ分析に基づく2040年の将来予測・可視化シミュレーション 質問内容：札幌市独自分析とありますが、2040年の人口構造について、市として既に採用している将来人口推計、地域別推計、世帯推計等がある場合、本業務ではそれを活用できますか。それとも、受託者が公的統計等を用いて独自に推計することを想定されていますか。	すでに推計している統計データについては、活用いただくことが可能です。なお、令和7年国勢調査の確定値が9月に公表されますので、スケジュールの都合上反映可能な場合には、こちらの統計データを活用いただく想定です。